

安平町地域プロジェクトマネージャー募集要項 (こどもにやさしいまちづくりプロジェクト)



令和6年11月



安平町

安平町地域プロジェクトマネージャー 募集要項 (令和6年11月1日募集開始)

■ まちの概要

安平町（あびらちょう）は、札幌市から約50kmの道央圏内、「北海道の空の玄関」新千歳空港から約17km（約20分）、「北海道の海の玄関」苫小牧港から約25km（約30分）に位置する人口約7,800人、面積237.1km²のまちです。

町内には、高速道路インターチェンジや札幌～帯広・釧路間を結ぶ特急列車も停まるJR追分駅があるなど、北海道内では比較的交通の利便性が良いまちです。

気候は、北海道の中でも雪が少ない比較的温暖な気候であり、太平洋沿岸にあるため年間を通じて晴天の日が多く、水害などが少ない恵まれた気象条件にあります。

地域の基幹産業は農業であり、GIレース9冠馬のアーモンドアイ、7冠馬のディープインパクトやジェンティルドンナなどの日本を代表する軽種馬の大産地であり、チーズ発祥の地を支えてきた酪農業や肉牛産業、アサヒメロンなどの労働集約型作物、なたね（菜の花）やそばなどの土地利用型作物など、地域特性を活かした北海道らしい豊かな農村が築かれています。

他方、まちづくりの重点に「子育て・教育」を据え、全国に先駆けて公私連携幼保連携型認定こども園を町内2か所に設置し充実した教育が行われていること、ユニセフが推進する「子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）実践自治体」として最初に認証された全国5つの自治体の一つであることに加え、令和5年度に早来地区で開校した小中一貫の義務教育学校「早来学園」では、地域の皆様のものであつて気軽に関わってもらえる学校づくりを進めています。ソフト部分の魅力としては「あびら教育プラン」があります。これらの積み重ねが今、全国的に注目を浴びているところです。

以上を踏まえ安平町では、「子どもにやさしいまちづくりプロジェクト」として、より一層魅力ある教育まちづくりを進めるため、学校や地域と共に事業を進める地域プロジェクトマネージャーを募集します。

【関係資料】

◇安平町総合計画

<http://www.town.abira.lg.jp/gyosei/sogo-keikaku>

◇安平で安心子育て（「安平町としてのCFCIの考え方」ほか）

<https://www.town.abira.lg.jp/kosodate/anshin-kosodate>

◇あびら教育プランと直近四半期報告

<https://www.town.abira.lg.jp/kosodate/asobimanabi/eduplan>

<https://www.town.abira.lg.jp/oshirase/3/17735>

◇早来地区義務教育学校「早来学園」

<https://www.town.abira.lg.jp/kosodate/gakuen>



1. 募集人数と活動概要

地域プロジェクトマネージャー（子育て教育総合専門官）：1名

【背景】

安平町第2次総合計画では、「子育て・教育」を最優先政策分野として位置づけ、移住・定住へとつなげ、さらに地域課題の解決に取り組む人材や団体を支援し、「暮らしやすいまち」から「暮らし続けるまち」「子育て世代に選ばれるまち」となっていくことを目指してきました。町内幼児教育の充実やあびら教育プランの推進、さらに早来学園の開校もあり、成果として子育て世代の移住者の増加傾向が見られます。次なる課題は、教育をきっかけにまちが活性化し、地域の社会課題が解決され、「暮らし続けるまち」へと移っていくことです。

地域や自身が直面する課題や困難に対し、他者と協働しながら、自らの選択と行動で道を切り拓く大人を支援すること。そして、その姿を子どもたちが目にし、学校や地域で子どもたちが同様の経験を積む機会を、CFCIの理念を基盤に提供することで、こどもと大人、学校と地域がつながり、まち全体が活性化し、「育てたい 暮らしたい 帰りたい みんなで未来へ駆けつけるまち」の実現につながります。

CFCIの理念を基盤とした「日本一の公教育」を目指すため、地域プロジェクトマネージャーを募集します。

【業務内容】

- ①コミュニティ・スクール（CS）活性化
 - ▶学校の株主総会であるCS。株主の地域住民がより強く関わる体制へ
- ②地域学校協働本部 設置準備→設置→運営
 - ▶CSの意見を実現する部隊。地域住民が主体の学校連携・協働へ
- ③町内学校の魅力化
 - ▶学校が最大のこども居場所。魅力的な学校づくりで児童生徒不登校0の学校へ
- ④教員の働き方改革
 - ▶地域が学校を支える。教師が授業で勝負できる環境へ
- ⑤CFCIの普及と実践
 - ▶子どもの社会参画。子どもたちの意見が当たり前で聴かれ、反映されるまちへ
- ⑥その他子育て・教育に関すること
 - ▶特に未就学の領域など、LPM独自の推進課題の設定を可能とする。

【求める人物像】

次のような特定の領域で専門的バックグラウンド（専門家であることなど）がある人物を求めています。（すべて満たしている必要はありません）

- 教育現場（学校教育）も地域活動（民間経験含む）を双方理解している
 - 学校にも地域にも勤務経験（活動経験）等がある。
- 地域活動も行政（教育行政）も双方理解している。
 - 民間にも行政にも勤務経験（活動経験）等がある。
- マネジメント（管理職）経験のあるミドル層を想定
 - 「変革者」ではなく「調整者」の役割を期待
 - 調整能力とこれを担保するコミュニケーション能力が必要

以上のことから下記の実績のある人材からの応募を期待しています。

- ・子育て・教育分野で実践経験のある地域おこし協力隊員
- ・コミュニティ形成で実践経験のある教員免許を有する地域おこし協力隊員
- ・子育て・教育分野や地方創生で業績のある事業者や法人役員
- ・子育て・教育分野や地方創生で業績のある企業に勤務経験のある行政管理職員
- ・行政経験のある教員管理職員

※これらは応募条件ではありません。

※教員免許は必須要件ではありません。

2. 応募要件

<必須条件>

次の全ての要件を満たすことが必要です。

1. 地方公務員法第16条に規定する欠格事項に該当しない方。
2. 過疎、山村、離島、半島等以外の都市地域（3大都市圏含む）から安平町へ移住できる方
※現住所が都市地域等に該当するかどうかお調べすることも可能です。
3. 普通自動車免許を有している方、または採用日までに取得見込みの方
4. 子どもの人権・子育て教育・地域コミュニティ形成支援などの特定の領域で専門的知識/実績と人脈があり、その分野でマネジメント（管理職業業務等）を経験した方
5. PCスキルを含めたICTスキルを有する方
6. 採用決定後、都市地域等から安平町内へ令和7年6月3日までに移住（住民票を安平町内に異動）し、活動を開始できる方。

3. 身分と報酬

(1) 身分

当町の会計年度任用職員として任用いたします。本務活動に支障がない範囲において、兼業(副業)が可能です。

(2) 報酬(予定)

- ①通勤手当（費用弁償） 85,200円
距離に応じた支給 @7,100円/月で算定
- ②住居手当分（補助） 336,000円
家賃に応じた支給 @28,000円/月（上限額）で算定
- ③給与（報酬） 5,065,200円
@422,100円/月（固定）で算定
- ④賞与（期末手当） 1,013,040円
現行条例（R4.4現在）に応じて支給 基礎額@422,100円×2.4か月分で算定
- 合計 6,499,440円/年

*この額から社会保険料等の本人負担分が控除されます。

*任用初年度の期末・勤勉手当は、在職期間が短いため手当率が減じられます。

*安平町議会での関連予算の議決が前提となります。

4. 任用期間や待遇など

(1) 任用期間

任用日（令和7年4月1日予定、活動開始も4月1日を予定）から令和8年3月31日までとし、活動実績や活動内容等により、任用開始日から最長で3年間まで任用期間を更新します。

*地域プロジェクトマネージャーとしてふさわしくないと判断した場合等には、期間中であつても任用を取り消すことがあります。

(2) 活動時間など

①活動時間は、月16日（7時間45分×16日間）を基準とします。必要に応じて土曜・日曜・祝日・夜間に活動する場合があります。（活動時間が基準を超過する日が生じるときは、超過分を別の活動日で調整（振替）します。）

②休暇は次のとおりです。

ア 年末年始休暇 12月29日から翌1月3日まで

イ 年次休暇 初年度は10日間の年次休暇を付与します。翌年度以降は労働基準法の規定に基づき付与します。

ウ 特別休暇等 公民権行使休暇、忌引休暇、結婚休暇など

(3) 福利厚生など

①社会保険等

健康保険、厚生年金、雇用保険に加入します。

②住居の紹介

町内民間アパートなどを紹介いたしますが、着任のタイミングにより、希望どおりの地区に居住できない場合がありますことを予めご留意ください。なお、家賃補助については、次の項目をご覧ください。

③プロジェクト活動経費補助

安平町では、地域プロジェクトマネージャーの活動に要する経費に対して、予算の範囲内で助成を行います。なお、町への転居費用、生活用品、光熱水費などは個人負担となります。

[対象経費] 安平町地域プロジェクトマネージャー活動費補助金交付要綱に基づき算定します。

○入居住宅家賃経費（月額28,000円上限・算定式あり）

○プロジェクト活動経費（年額48万円上限・実費相当）

5. 応募手続など

(1) 事前説明会（オンライン）、現地説明会

実際に現地を見て、体感してもらうことを通じて、安平町の教育・まちづくりについて理解やイメージを深めていただく機会として実施します。

ホームページの掲載ページに申込みフォーム（リンク）を貼っていますので、そちらからお申込みください。

なお、参加の有無によって、採用にあたっての加点や減点は行いません。

(2) 応募手続きなど

① 応募書類

- ・履歴書（町指定の様式を使用。顔写真必要）
 - ・卒業証明書又は卒業証書の写し
 - ・各種資格免許証の写し（普通自動車運転免許（両面）と①に記載したもの）
 - ・レポート（任意様式、パソコンでの作成可）
- ※履歴書様式は町ホームページからダウンロードしてください。

② レポートについて

レポート（任意様式）を次のテーマに沿って1, 200字以上（上限3, 000字）で作成し、応募時に提出してください。

レポートテーマ

あなたの専門性を有する特定の分野における知識やこれまでの実績・有する人脈やマネジメント経験等を明らかにしたうえで、あなたがLPMとして果たすことができる役割や具体的活動イメージと任期満了後のビジョンについて、当町が設定するプロジェクトの目的等に照らして説明してください。

③ 応募方法・その他

* 右記二次元バーコード、または下記URLから申し込みをしてください。

<https://www.harp.lg.jp/aaEAHwXP>

応募申込みフォーム



* 申し込みフォームに応募書類を添付しお申し込みください。

* 受付期間：令和6年11月1日（金）～令和6年11月27日（水）17時15分

(3) 応募者選考

* 1次試験（面接・オンライン方式）：12月初旬

- ・書類等により要件を満たすことを確認した方が対象となります。
- ・オンラインにて実施します。
- ・11月28日（木）に応募者に対し試験日程を通知します。

* 2次試験（面接・現地対面方式）：12月下旬

- ・12月6日（金）に1次試験受験者に対し結果通知と2次試験日程を通知します。

(町長の公務等に変更となる場合があります。)

- ・面接会場は、安平町役場総合庁舎(安平町早来大町95)を予定しています。
※応募者には面接日時に来町いただき、対面実施による面接を基本とします。
- ・面接選考の結果は、令和6年12月26日(木)に通知します。

(4) 全体スケジュール(再掲)

- ・募集開始 令和6年11月1日(金)
- ・説明会 オンライン説明会：令和6年11月6日(水)20時～
- ・説明会 現地説明会：令和6年11月16日(土)13時～
- ・応募〆切 令和6年11月27日(水)必着
- ・1次試験 令和6年12月上旬を予定
- ・1次結果 令和6年12月6日(金)結果通知、2次日程通知
- ・2次試験 令和6年12月下旬を予定
- ・結果通知 令和6年12月26日(木)に通知
- ・任用日 令和7年4月1日(火)付けを予定(※)
- ・活動開始 令和7年4月1日(火)予定

(※任用日及び活動開始日の弾力的調整を希望する場合でも、6月3日までに住民票を安平町内に異動し、活動を開始できることを応募の要件にしておりますので、ご注意ください。)

(5) 問い合わせ窓口

安平町教育委員会事務局学校教育グループ(担当：笹山)

〒059-1595 北海道勇払郡安平町早来大町95(安平町役場総合庁舎)

電話:0145-29-7036 FAX:0145-29-7030

メール:kosodate-tantou@town.abira.lg.jp